

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番

第四期中期計画項目	第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況
			時点
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置			
第1 教育に関する目標を達成するための措置			
1 教育の内容とその成果			
(2) 総合大学の特性を活かした多様な教育プログラム(学士課程)	総合大学の強みを活かし、文理融合を意識した総合知を身につけるための学修態度を学ぶ教育及び全学的な数理・データサイエンス・AI教育を行う。また、留学生との交流を推進するグローバル環境における課題解決能力を育む学習プログラムの開発、多様な教育プログラム及び体験を通じて、予測困難な社会にあっても十分対応できる高い専門性を備えた次世代をリードできるグローバル人材を育成する。	④ 文理融合、数理・データサイエンス・AI、アントレプレナー、SDGs等、社会のニーズに応える多様な教育・実習プログラムの展開	学部ごとに設定
(3) 世界水準の研究者・高度専門人材の育成(大学院課程)	データサイエンス関連の研究科を設置するとともに、各研究科において共同大学院の活性化を含む新たな大学院構想を検討する。また、海外研究者の招へい、国費留学生の受け入れ、日本人大学院生の海外派遣等による教育の高度化・グローバル化、社会人学生へのリスキリング支援等を通じ、時代の要請に応える高度専門人材を育成する。	② データサイエンス関連の研究科の設置	検討中
			令和5年度

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番

第四期中期計画項目		第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況
				時点
【5】	2 教育の実施体制等			
	(1) 教育実施体制	医学部における保健医療学科の新設及び看護学部の統合のほか、新たなニーズに対応するため、積極的な学部・学科再編を実施する。また、語学講師の体制強化をはじめとした高等教育院の機能強化を図るとともに、人的・財務基盤の拡充を図り、大学間連携及び名古屋市との教育連携を強化することで、総合大学にふさわしい教育実施体制を実現する。	② 新たなニーズに対応できる積極的な学部・学科等再編及び学生定員の拡充	学部ごとに設定
【20】	第4 附属病院群に関する目標を達成するための措置			
	3 医療提供体制の充実と高度な医療の提供	医療を取り巻く環境の変化を見据え、附属病院群が一体となって、医療体制及び病院設備・医療機器等の整備を行う。市立大学病院、東部・西部医療センターはそれぞれの特長を活かし、手術などにおいて最先端の技術を積極的に導入すること等により、低侵襲・高難度の診療等高度先進医療の拡充をめざす。また、みどり市民病院は地域医療のニーズに応じた地域密着型の医療を提供し、みらい光生病院は健康寿命の延伸に向けて、心身機能の回復・維持をめざした医療を提供する病院としての役割を果たす。 <u>リハビリテーション病院は在宅復帰・社会復帰のための先駆的なリハビリテーション医療に取り組む。さらに、みどり市民病院の建替えやみらい光生病院・リハビリテーション病院の機能分化・統合の検討</u> 等、附属病院群における更なる医療機能の拡充を図る。	④ リハビリテーション実施単位数【第四期中期目標期間最終年度の単位数】 ・みらい光生病院 123,600単位 <u>・リハビリテーション病院 239,360単位</u>	みらい: 31,696単位 <u>リハ:</u> <u>114,289単位</u>
				みらい:(令和5年4月～6月実績)×4、 <u>リハ:令和5年度実績</u>
【22】	5 安心・安全な医療の提供	附属病院群が一体となり医療安全に関する取り組みを強化するとともに、最新のデジタル技術を導入し、より安心・安全で質の高い医療を提供する。	① 医療安全に関する研修の受講率【毎年度の受講率】 ・ <u>6</u> 病院 100%	市大・東部・西部:100% みどり:55.6% みらい:39.0% <u>リハ:100%</u>
				市大・東部・西部:令和4年度末時点、 みどり・みらい:令和5年6月末時点、 <u>リハ:令和5年度末時点</u>

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番

第四期中期計画項目	第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況
			時点
【23】	6 地域医療への貢献 地域包括ケアシステムの構築に寄与するため、在宅医療・介護連携ネットワークの積極的な活用による地域の医療機関・介護施設との連携に加え、行政・教育等の関係機関との連携を推進するとともに、高度急性期から慢性期までの幅広い病院機能を踏まえた人材育成や多職種連携に取り組む。	① 地域医療機関からの紹介患者数【第四期中期目標期間最終年度の人数】 ・市立大学病院 17,900人 ・東部医療センター 13,700人 ・西部医療センター 18,180人 ・みどり市民病院 4,700人 ・みらい光生病院 1,860人 ・ <u>リハビリテーション病院 1,030人</u>	市大:15,950人 東部:11,670人 西部:16,936人 みどり:4,184人 みらい:1,028人 <u>リハ:522人</u>
			市大・東部・西部:令和4年度末時点、 みどり・みらい:(令和5年4月～6月実績)×4、 <u>リハ:令和5年度末時点</u>
		② 地域医療機関への逆紹介患者数【第四期中期目標期間最終年度の人数】 ・市立大学病院 20,760人 ・東部医療センター 14,500人 ・西部医療センター 21,490人 ・みどり市民病院 5,300人 ・みらい光生病院 700人 ・ <u>リハビリテーション病院 1,170人</u>	市大:18,459人 東部:12,145人 西部:20,310人 みどり:4,740人 みらい:316人 <u>リハ:737人</u>
			市大・東部・西部:令和4年度末時点、 みどり、みらい:(令和5年4月～6月実績)×4、 <u>リハ:令和5年度末時点</u>
		④ 在宅復帰率【毎年度の復帰率】 ・みどり市民病院 72.5% ・みらい光生病院 70.0% ・ <u>リハビリテーション病院 70.0%</u>	みどり:66.7% みらい:68.1% <u>リハ:85.0%</u>
			みどり、みらい:令和5年6月末時点、 <u>リハ:令和5年度末時点</u>

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番	第四期中期計画項目	第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況	
				時点	
【24】	<u>7 福祉との連携による医療の提供</u>	リハビリテーション病院では、医療と福祉の連携拠点となる医療福祉センターを設置し、福祉部門との連携による在宅復帰・社会復帰の支援や医療福祉に関するプロフェッショナルな人材の育成をめざす。	① <u>身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の取得にかかる診断書の発行件数【第四期中期目標期間最終年度の件数】</u> ・リハビリテーション病院 550件	<u>436件</u>	
				<u>令和5年度実績</u>	
			② <u>社会福祉士の資格取得にかかる実習の受け入れ人数【第四期中期目標期間最終年度の人数】</u> ・リハビリテーション病院 10人	<u>3人</u>	
				<u>令和5年度実績</u>	
【25】	<u>8 救急医療及び災害医療の強化</u>	救急医療及び災害時における医療について、名古屋市を設立団体とする大学の附属病院群として、名古屋市をはじめとする自治体と緊密に連携しながら、各病院の機能に応じて医療提供体制の充実を図る。また、救急医療及び災害医療における医療に係る人材育成にも注力する。	② 災害訓練の実施 ・ <u>6</u> 病院	各病院にて 1回ずつ実施	
				市大・東部・西部:令和4年度末時点 (みどり・みらい・ <u>リハ</u> 除く)	

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番

第四期中期計画項目	第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況
			時点
【26】9 経営改善等の推進	医療DXの積極的な推進等により、患者サービスの向上や医療従事者の働き方改革にも留意しながら、人員・設備・資金の経営資源を効率的・効果的に活用し、収益の向上を図るとともに、附属病院群が一体となってスケールメリットを活かし、低コストで最大の効果を上げるための経営改革を推進する。	① 新入院患者数【第四期中期目標期間最終年度の人数】 ・市立大学病院 20,360人 ・東部医療センター 13,600人 ・西部医療センター 14,500人 ・みどり市民病院 2,700人 ・みらい光生病院 970人 ・ <u>リハビリテーション病院 410人</u>	市大:19,052人 東部:11,305人 西部:12,984人 みどり:1,772人 みらい:396人 <u>リハ:440人</u>
			市大・東部・西部:令和4年度末時点、 みどり・みらい:(令和5年4月～6月実績)×4、 <u>リハ:令和5年度末時点</u>
		② DPC入院期間Ⅱ(※)以内の退院率【第四期中期目標期間最終年度の退院率】 ・市立大学病院 70.0% ・東部医療センター 70.0% ・西部医療センター 70.0% ・みどり市民病院 70.0% (※)急性期入院医療を対象とする診断群分類に基づく1日あたり包括払い制度(DPC制度)における、すべてのDPC病院の平均在院日数のこと。	市大:65.7% 東部:65.0% 西部:66.9% みどり:68.2%
			市大・東部・西部:令和4年度末時点、 みどり:令和5年6月末時点
		③ <u>回復期リハビリテーション病棟の病床稼働率【第四期中期目標期間最終年度の稼働率】</u> ・ <u>みらい光生病院 97.0%</u> ・ <u>リハビリテーション病院 97.0%</u>	<u>なし</u> <u>(新規で設定)</u>
			<u>令和5年度末時点</u>
		④ 医療材料の共同購入 100%【第四期中期目標期間最終年度の割合】	47.0%
			令和4年度末時点
		⑤ 医薬品の共同購入 100%【第四期中期目標期間最終年度の割合】	約50.0%
			令和4年度末時点

第四期中期計画変更案(関連部分のみ抜粋)

※変更点を赤字下線で表示

連番

第四期中期計画項目	第四期中期計画本文	評価指標	評価指標設定時の状況
			時点
Ⅱ 法人運営に関する目標を達成するための措置			
第2 施設整備の推進に関する目標を達成するための措置			
3 附属病院群における施設整備の推進	医療サービスを良好に維持するため、施設・設備の整備を計画的に実施する。 市立大学病院における救急災害医療センターの整備、東部・西部医療センターにおける改修工事、みどり市民病院における建替えによる新病院の整備、 <u>みらい光生病院・リハビリテーション病院における老朽化に伴う整備</u> 等を計画的に実施する。また、市立大学病院をはじめとする既存の医療施設について、必要な医療機能の拡充等に適切に対応するため、継続的な整備を行う。整備に当たっては、患者ニーズの高い個室病床を増加させるなど、患者の利便性等に配慮する。	⑥ <u>みらい光生病院・リハビリテーション病院の施設・設備整備の推進</u>	<u>なし</u> <u>(新規で設定)</u>
			<u>令和5年度末時点</u>